

INVESTMENT
OPPORTUNITIES
IN KOREA

観光



目次

1. 観光レジャー産業の動向・1
 - 1.1 韓国市場の動向・1
 - 1.2 産業競争力・6
 - 1.3 韓国における有望分野・9

2. 外国人直接投資動向・12
 - 2.1 外国人直接投資の現況・12
 - 2.2. 主要外国投資企業の成功事例・13

3. 政策立地・15
 - 3.1 主要政策及びインセンティブ・15
 - 3.2 主要立地・16

4. 潜在的なパートナー・17
 - 4.1 関連機関及び協会リスト・17
 - 4.2 地方自治体リスト・19

* 本報告書上の数値はウォン（KRW）からドル（USD）に年度別の平均為替レートを基準で変換した。但し、年平均成長率を説明する場合、直近年度の平均為替レートで換算した。

* 換算した金額は四捨五入した上で表示したが、合計金額と一致しない場合、切り上げや切り捨てを適用した。



1 観光レジャー産業の動向

産業の定義・分類

- 観光レジャー産業は、観光客の観光レジャー活動のために運送、宿泊、飲食、スポーツ、娯楽、休養または観光レジャー関連サービスを提供したり、観光客が利用する観光施設を運営する事業を意味する。
- 観光レジャー活動とは、観光客が日常の定住圏を離れて戻ってくるまでの一連の活動であり、観光レジャーサービスは観光客が消費する時点において提供されるという特性を持っている。

■ 観光レジャー産業の分類 ■

観光レジャー産業	主な産業の詳細
小売業	観光記念品、観光ショッピングなど
飲食業	飲食店、飲酒店など
宿泊業	ホテル業、旅館業など
旅客運送業	陸上運送、外航運送、航空運送など
運輸補助業	旅客自動車、ターミナル、駐車場など
自動車賃貸業	観光関連自動車賃貸など
旅行業	国内及び国外旅行業、旅行予約サービス業など
文化芸術公演業	文化芸術公演(映画、公演、博物館、演劇、音楽)
運動競技業	競技場運営、スポーツサービス、ゴルフ場、スキー場など
娯楽及び風俗営業	ゲームセンター、ギャンブルなど

1.1 韓国市場の動向

▶ 韓国人の国内旅行の現況

- 韓国人の国内旅行日数は、1年間の国内宿泊旅行の日数と国内日帰り旅行の日数を合わせた総日数を意味する。2018年は韓国人の国内旅行日数が前年比16%増加の5億5,689万日を記録した。

韓国国内旅行日数の推移

(単位:日)

年度	国内旅行日数	
	日帰り旅行	宿泊旅行
2005	388,836,797	240,186,915
2006	416,982,061	248,608,262
2007	477,372,260	294,339,235
2008	408,026,189	267,009,002
2009	375,340,664	268,647,522
2010	339,607,551	263,633,471
2011	286,947,961	201,976,000
2012	365,282,249	244,102,488
2013	389,220,312	257,852,307
2014	397,846,767	269,268,235
2015	406,818,700	268,297,184
2016	412,378,155	271,696,131
2017	479,673,688	307,492,167
2018	556,890,000	408,941,000

資料：韓国文化体育観光部（2005年 - 2018年）、国民旅行調査
注：2018年より調査方法を変更

外国人観光客入国者数の現況

- 2018年には前年比15.1%増加の1,535万人の外国人が韓国を訪問した。
 - 中国市場は、中国政府による訪韓団体観光禁止措置が一部緩和された影響により前年比15%の増加となった。
 - 日本市場は朝鮮半島をめぐる情勢の安定化及び日本国内の新韓流ブームなどのプラス影響により、前年比28%増の成長を記録した。
- 中国及び日本市場の成長と共に、アジア及び中東への市場多変化戦略が効果を上げ、外国人観光客数を全般的に引き上げた。

外国人観光客数の年別推移

(単位：人、%)

年度	外国人観光客数	増加率
2005	6,022,752	3.5
2006	6,155,046	2.2
2007	6,448,240	4.8
2008	6,890,841	6.9
2009	7,817,533	13.4
2010	8,797,658	12.5
2011	9,794,796	11.3
2012	11,140,028	13.7
2013	12,175,550	9.3
2014	14,201,516	16.6
2015	13,231,651	-6.8
2016	17,241,823	30.3
2017	13,335,758	-22.7
2018	15,346,879	15.1

 資料：韓国観光知識情報システム(www.tour.go.kr)

- 2018年に韓国を訪問した外国人観光客の主な訪問目的は、「余暇/娯楽/休息」が78.4%と最も高く、以下、「ビジネス/専門活動」(18.1%)、「教育」(3.0%)、「宗教/巡礼」(0.4%)の順となっている。

外国人観光客の訪韓目的

(単位: %)

訪韓目的	2016年	2017年	2018年
余暇/娯楽/休息	59.8	51.9	78.4
ビジネス/専門活動	15.0	19.0	18.1
教育	4.0	5.8	3.0
宗教/巡礼	0.4	0.5	0.4
その他	0.1	0.3	0.1

資料：韓国文化体育観光部(2019.5)、外来観光客実態調査

注：2018年より調査方法を変更

- 2018年に訪韓した外国人観光客が韓国を選択した主な理由は、「ショッピング」(63.8%)、「グルメ」(57.9%)、「自然景観を楽しむ」(36.2%)の順であった。
- 外国人観光客が韓国を目的地に選択した主な要因は、韓国のショッピング環境と飲食文化体験であることが分かった。

韓国を選択した理由

(単位: %)

選択理由	2016年	2017年	2018年
ショッピング	67.3	62.2	63.8
グルメ	44.5	52.8	57.9
自然景観を楽しむ	43.2	36.4	36.2
友人/親戚訪問	-	-	20.4
歴史/文化遺跡観光	25.6	19.8	14.8
ファッション、トレンドなど洗練された現代文化	25.4	25.4	13.1
休息	9.6	10.7	12.4
K-POP/韓流	7.9	10.7	9.3
自国からの移動距離	12.2	12.3	7.4
経済的な旅行費用	10.1	11.3	6.6

資料：韓国文化体育観光部(2019.5)、外来観光客実態調査

注：2015年上位10位基準、重複回答含む。2018年調査方法を変更

- 2018年に訪韓した外国人観光客が韓国で一番印象的だった訪問先は、「明洞/南大門/北倉洞」(58.3%)、「東大門ファッションタウン」(28.1%)、「新村/弘益大学周辺」(16.8%)、「鐘路/清溪川」(16.30%)の順であった。
- 外国人観光客が韓国で一番印象的だった訪問先は、ストリート文化とショッピング地域。

韓国で一番印象的だった訪問先

(単位: %)

主要訪問先	2018年	主要訪問先	2018年
明洞/南大門/北倉洞	58.3	釜山海雲台一帯	9.5
東大門ファッションタウン	28.1	梨泰院	9.1
新村/弘益大学周辺	16.8	蚕室	9.0
鐘路/清溪川	16.3	済州	7.9
江南駅	10.9	釜山龍頭山/チャガルチ市場	5.0

資料：韓国文化体育観光部(2019.5)、外来観光客実態調査
 注：2015年上位10位基準、重複回答含む。2018年調査方法を変更

- 2018年に訪韓した外国人観光客の主要訪問圏域は、ソウル圏(79.4%)、慶尚圏(17.5%)、京畿圏(14.9%)の順であった。
- 外国人観光客の観光活動はソウルを中心とした首都圏に集中している。

外国人観光客の訪問圏域

(単位: %)

訪問圏域	2016年	2017年	2018年
ソウル圏	78.0	78.8	79.4
慶尚圏	12.5	18.1	17.5
京畿圏	13.1	15.6	14.9
江原圏	6.4	6.8	9.7
済州圏	20.2	10.8	8.5
仁川圏	6.2	10.0	8.3
忠清圏	2.5	3.9	4.0
全羅圏	2.2	3.0	2.6

資料：韓国文化体育観光部(2019.5)、外来観光客実態調査
 注：重複回答含む。2018年調査方法を変更

▶ 韓国人の海外観光の現況

- 2018年の韓国人海外旅行者数は28,695,983人と、前年比で8.3%の増加となった。
- 2018年には短い連休が多かったため、短距離旅行者数が増加し、国際LCC路線の増便により海外旅行者数は持続的に増加している。

韓国人出国者数の年別推移

(単位：人、%)

年度	韓国人出国者数	増加率
2005	10,080,143	14.2
2006	11,609,879	15.2
2007	13,324,977	14.8
2008	11,996,094	-10.0
2009	9,494,111	-20.9
2010	12,488,364	31.5
2011	12,693,733	1.6
2012	13,736,976	8.2
2013	14,846,485	8.1
2014	16,080,684	8.3
2015	19,310,430	20.1
2016	22,383,190	15.9
2017	26,496,447	18.4
2018	28,695,983	8.3

資料：韓国観光知識情報システム(www.tour.go.kr)

1.2 産業競争力

外国人観光収入の現況

- 2018年の観光収入は、訪韓外国人観光客及び韓国ショッピング観光収益の増加により、前年比14.6%増の152億ドルを記録した。
- 2017年に観光支出が大幅に増加したが、2018年には韓国人海外旅行者数の増加傾向が鈍化し、284億ドルを記録した。

観光収支の年別推移

(単位: 百万ドル)

年度	観光収入	観光支出	観光収支
2010	10,225	14,278	-4,052
2011	12,334	15,531	-3,297
2012	13,201	16,495	-3,293
2013	14,288	17,341	-3,052
2014	17,336	19,470	-2,134
2015	14,676	21,528	-6,852
2016	16,754	21,689	-6,935
2017	13,264	27,960	-14,696
2018	15,206	28,414	-13,208

資料：旅游知识信息系统(www.tour.go.kr)

注：2018年为暂定値。

世界の中の韓国観光

- 2012年に韓国を訪問した外国人観光客数が1,000万人を突破し、2018年には訪韓外国人観光客数が1,535万人に増加した。
- 国際観光客到着数をみると、韓国は2018年に27位となった。

国際観光客到着数

(単位: 百万人)

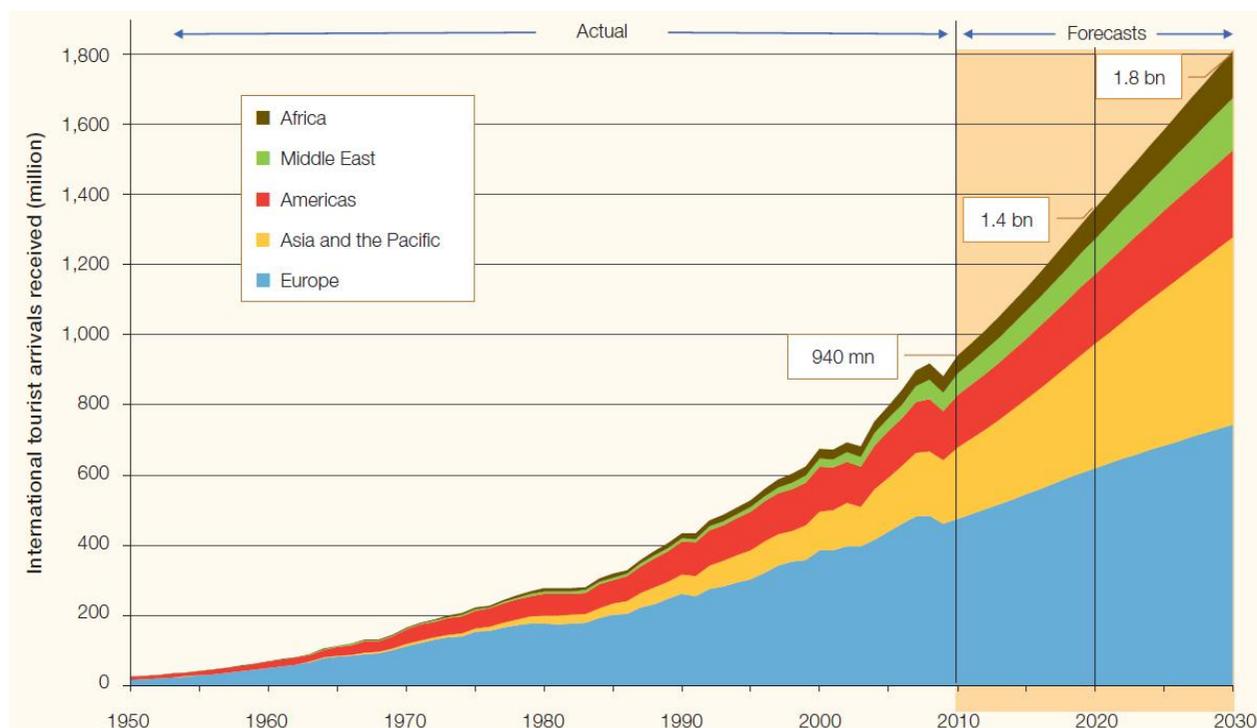
順位	国家	2015	2016	2017	2018	変化率(%) (18/17)
1	フランス	84.5	82.7	86.9
2	スペイン	68.2	75.3	81.9	82.8	1.1
3	アメリカ	77.8	76.4	76.9
4	中国	56.9	59.3	60.7	62.9	3.6
5	イタリア	50.7	52.4	58.3	62.1	6.7
6	トルコ	39.5	30.3	37.6	45.8	21.7
7	メキシコ	32.1	35.1	39.3	41.4	5.5
8	ドイツ	35.0	35.6	37.5	38.9	3.8
9	タイ	29.9	32.5	35.5	38.3	7.9
10	イギリス	34.4	35.8	37.7
11	日本	19.7	24.0	28.7	31.2	8.7
12	オーストリア	26.7	28.1	29.5	30.8	4.6
13	ギリシャ	23.6	24.8	27.2	30.1	10.8
14	香港	26.7	26.6	27.9	29.3	4.9
15	マレーシア	25.7	26.8	25.9	25.8	-0.4
16	ロシア	26.9	24.6	24.4	24.6	0.7
17	ポルトガル	10.1	18.2	21.2
18	カナダ	18.0	20.0	20.9	21.1	1.2
19	オランダ	15.0	15.8	17.9	19.0	6.1
20	マカオ	14.3	15.7	17.3	18.5	7.2
21	ポーランド	16.7	17.5	18.3
22	ハンガリー	14.3	15.3	15.8	17.2	8.7
23	クロアチア	12.6	13.7	15.6	16.6	6.7
24	アラブ首長国連邦	14.2	14.9	15.8	15.9	0.8
25	インド	13.3	14.6	15.5
26	ベトナム	7.9	10.0	12.9	15.5	19.9
27	韓国	13.2	17.2	13.3	15.3	15.1
28	サウジアラビア	18.0	18.0	16.1	15.3	-4.8
29	ウクライナ	12.4	13.3	14.2
30	シンガポール	12.1	12.9	13.9

資料: UNWTO (2019.5)、World Tourism Barometer(Vol.17、Issue2 Statistical Annex)

観光産業の見通し

- 観光産業は最終需要型産業であるため、観光需要から観光市場の成長を予測することができる。
- 国際観光客数は着実に増加し、2020年には14億人、2030年には18億人に達する見込みである。
 - 2010年から2030年まで国際観光客数の年平均伸び率は3.3%であるのに対し、北東アジア地域は4.9%の高い伸び率が見込まれている。

2030年国際観光の見通し



資料：UNWTO(2016)、Tourism Highlights

- 航空運送は最も重要な長距離交通手段として国際観光の発展に大きく貢献している。
 - 今まで航空運送の市場環境では「規制と保護」が重視されてきたが、グローバル化・自由化・民営化という大きな軸を中心に「競争と協力」による市場原理が強調されている。
 - 最近、航空自由化及び航空会社間の戦略的提携、地域間統合運送市場の拡大により、多様な形の競争の構図が形成されている。
- 韓国の場合は近距離LCCの運航が増加し、韓国を訪問する外国人観光客数及び韓国人海外旅行者数の拡大に大きく貢献している。
 - 2018年には韓国人の国内旅行が16%増加し、訪韓外国人観光客数は15%増加した。
- 韓国の観光レジャー産業は、観光需要の増大により持続的に成長している。

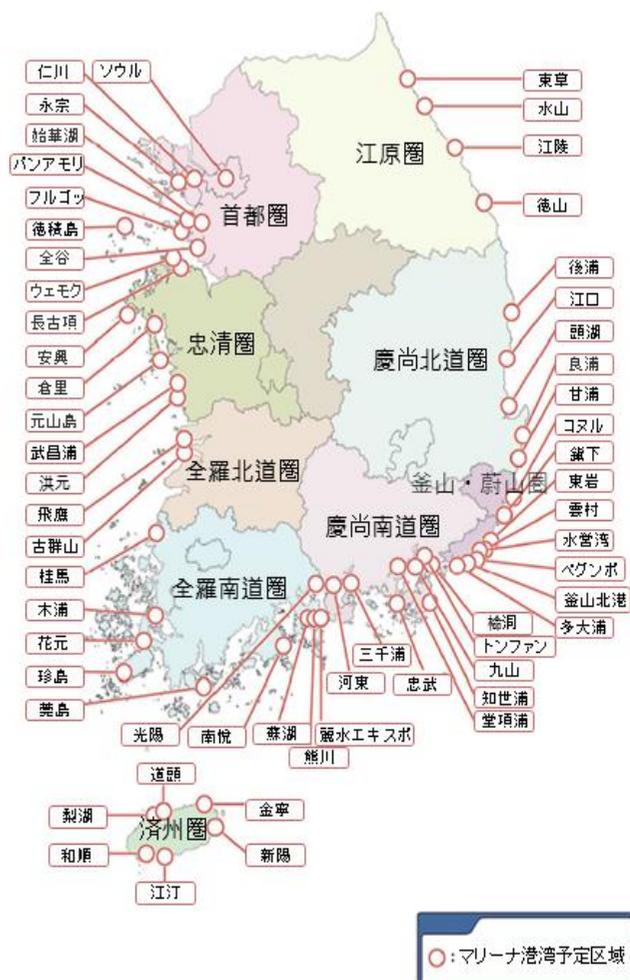
1.3 韓国における有望分野

マリーナ1)

- マリーナは、プレジャーボートの係留施設を中心とした多様な海洋レジャー活動のための附帯施設や関連サービスが総合的に提供される空間を指す。
- 韓国はマリーナ施設を中心に多様な海洋レジャー文化が発達している先進国とは違って、マリーナ開発においては初期の段階にあり、現在全国で34カ所のマリーナ施設が運営されている。
- 韓国は今後国民所得の増加に伴うマリーナ需要の増加に備え、2015年から「第1次マリーナ港湾基本計画修正計画」を打ち立て、推進している。

マリーナ港湾予定区域

圏域	対象となる港湾	箇所
首都圏	全谷、徳積島、ソウル、仁川、始華湖、永宗、フルゴッ、パンアモリ	8
忠清圏	洪元、倉里、ウエモク、安興、武昌浦、長古項、元山島	7
全羅北道圏	古群山、飛鷹	2
全羅南道圏	木浦、蘇湖、麗水エキスポ、熊川、花元、桂馬、珍島、莞島、光陽、南悦	10
慶尚南道圏	忠武、三千浦、明洞、堂項浦、知世浦、トンファン、九山、河東	8
釜山・蔚山圏	釜山北港、鎮下、水営湾、雲村、コヌル、雲村浦、東岩、多大浦	8
慶尚北道圏	良浦、後浦、頭湖、甘浦、江口	5
江原圏	水山、江陵、束草、徳山	4
済州圏	金寧、道頭、梨湖、新陽、和順、江汀	6
計		58



資料：韓国海洋水産部(2015)、第1次マリーナ港湾基本計画修正計画

1) 資料：韓国海洋水産部ホームページ(www.mof.or.kr)参照

リゾート

- リゾートは観光客向けのスポーツ・娯楽・飲食・休養などの施設を作って観光客に利用してもらう事業で、韓国では総合休養業と専門休養業に分けられる。
- リゾート施設が建設される地域は自然環境の優れた地域で、韓国では山、川、海が含まれる観光ベルト地域と言える。
- 韓国文化体育観光部の年次報告書によると、韓国では2018年現在、27社の総合休養業者、94社の専門休養業者が運営中で、毎年リゾートの需要が増加している。

リゾート数の推移

(単位: 箇所)

区分	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
総合休養業	21	26	28	28	27
専門休養業	69	74	82	88	94
計	90	100	110	116	121

資料: 韓国観光知識情報システム(www.tour.go.kr)

観光ホテル

- 2018年現在、韓国で1,044ホテル、126,422客室が運営されている。
- 地域別客室数はソウル、済州、京畿、釜山の順である。

観光ホテル業の現況

(単位: 箇所、室)

区分	5つ星ホテル (特1等級)		4つ星ホテル (特2等級)		3つ星ホテル (1等級)		2つ星ホテル (2等級)		1つ星ホテル (3等級)		等級なし		計	
	ホテル数	客室数	ホテル数	客室数	ホテル数	客室数	ホテル数	客室数	ホテル数	客室数	ホテル数	客室数	ホテル数	客室数
ソウル	25	11,449	41	11,564	82	14,190	61	4,870	55	3,139	66	7,133	330	52,345
釜山	8	2,942	2	767	14	1,992	29	3,110	14	653	14	1,256	81	10,720
大邱	-	-	4	558	5	321	6	318	3	158	3	678	21	2,033
仁川	5	2,484	4	918	5	488	20	1,247	18	966	26	2,735	78	8,838
光州	-	-	1	205	1	30	1	110	4	194	5	402	12	941
大田	-	-	2	510	6	646	3	157	2	94	3	139	16	1,546
蔚山	1	200	-	-	2	420	3	265	2	101	6	1,094	14	2,080
京畿	1	377	8	1,818	20	2,613	34	2,125	17	933	44	3,376	124	11,242
江原	6	1,165	6	1,576	9	719	7	358	-	-	18	2,050	46	5,862
忠清北道	-	-	-	-	5	533	5	235	4	191	7	773	21	1,732
忠清南道	-	-	1	151	3	461	5	328	2	105	6	533	17	1,578

区分	5つ星ホテル (特1等級)		4つ星ホテル (特2等級)		3つ星ホテル (1等級)		2つ星ホテル (2等級)		1つ星ホテル (3等級)		等級なし		計	
	ホテル数	客室数	ホテル数	客室数	ホテル数	客室数	ホテル数	客室数	ホテル数	客室数	ホテル数	客室数	ホテル数	客室数
全羅北道	-	-	4	495	2	201	8	490	2	68	13	1,004	29	2,258
全羅南道	1	311	3	321	7	541	13	629	8	370	6	393	38	2,565
慶尚北道	2	764	4	1,009	3	215	11	575	6	310	15	1,162	41	4,035
慶尚南道	1	166	3	586	11	879	15	648	13	707	7	488	50	3,474
済州	15	5,357	12	2,213	17	1,354	8	459	4	219	70	5,571	126	15,173
計	65	25,215	95	22,691	192	25,597	229	15,924	154	8,208	309	28,787	1,044	126,422

資料：韓国文化体育観光部(2019.8) 2018年現在観光動向に関する年次報告書

- 2017年現在の韓国観光ホテルの平均客室利用率は60.71%で、地域別にみるとソウル(68.97%)、大田(61.71%)、蔚山(61.57%)、釜山(60.29%)の順となっている。

観光ホテルの客室利用率

(単位：%)

地域	客室利用率(%)	
	2016年	2017年
ソウル	75.34	68.97
釜山	60.41	60.29
大邱	54.64	53.51
仁川	65.67	58.31
光州	52.76	42.33
大田	59.47	61.71
蔚山	54.51	61.57
京畿	62.54	58.01
江原	50.48	53.10
忠清北道	45.11	43.80
忠清南道	49.24	52.87
全羅北道	53.69	48.52
全羅南道	48.30	48.88
慶尚北道	48.79	48.46
慶尚南道	46.68	44.26
済州	63.58	58.53
全国	64.15	60.71

資料：韓国文化体育観光部(2019.8) 2018年現在観光動向に関する年次報告書

▶ テーマパーク

- TEA(Themed Entertainment Association)が毎年発表する世界テーマパークトップ25によると、2018年のテーマパーク入場者は約251百万人に達した。
 - 世界第1位は米フロリダ州にあるウォルト・ディズニー社のマジック・キングダムで、約21百万人が訪問した。次いで米アナハイムにあるディズニーランド(約19百万人)、日本東京にある東京ディズニーランド(約18百万人)となっている。
- 韓国のテーマパークの入場者数は、ロッテワールドが約596万人、エバーランドが約585万人と、それぞれ17位、19位となっている。
- 地域主導型テーマパークは主に産業型テーマパークで、企業製品の価値や販売率を高めるためのブランド戦略の一環としてテーマパークを作る傾向がある。
 - 1次産業は牧場、果物、花などをテーマに、2次産業は鉱山業、工芸業、醸造業、菓子製造業、玩具製造業、自動車製造業、ロボットなどをテーマにしている。3次産業の代表的なテーマはアニメーション、映画など。
- 最近はハイテクを目指すテーマパークが増えており、先端通信及びIT技術、ロボット技術などが積極的に活用されている。
 - ハイテクテーマパークのポイントは、一般のテーマパークとは違ってバーチャル・リアリティ技術及びシミュレーション、ホログラフィーを活用した先端ハイテク技術が主要基盤になっていることである。
 - アメリカのエプコット(EPCOT Center)、日本のスペースワールド(Space World)、ジョイポリス(Joy Polis)などが代表的なハイテクテーマパークである。
- 娯楽と技術を統合させるデジタルエンターテインメント産業は、魅力的なコンテンツを基盤に先端技術を融合させてこそ成功の可能性が高まり、地域から人材及び技術をデジタルエンターテインメント産業に安定的に供給することができなければ、ハイテクテーマパークとのシナジー効果は上げられない。

2 外国人直接投資動向

2.1 外国人直接投資の現況

- 観光関連産業のうち、宿泊業、飲食業、レジャースポーツ業に対する2018年外国人直接投資の現況をみると、宿泊業は5,061千ドル(7件)、飲食業は180,440千ドル(30件)、レジャースポーツ業は40,000千ドル(1件)であった。
- 韓国の観光関連産業に対する外国人直接投資は年度別に大きな差がみられ、2018年には飲食業を除いた宿泊業とレジャースポーツ業に対する外国人投資は微々たる水準であった。

外国人投資の推移

(単位：件、千ドル)

産業分類	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
	件	金額	件	金額	件	金額	件	金額	件	金額
宿泊業	50	454,010	51	625,818	33	517,532	41	1,058,466	7	5,061
飲食業	67	287,721	88	29,647	149	298,545	156	60,432	30	180,440
レジャースポーツ業	20	136,327	15	1,035,337	12	30,805	12	162,413	1	40,000

資料：韓国産業通商資源部ホームページ(www.motie.go.kr)

注：申告件数と申告金額基準

2.2. 主要外国投資企業の成功事例

❖ オシリア観光団地²⁾

- オシリア観光団地は海洋都市釜山に建設される四季滞留型海洋複合リゾートで、現在民間投資誘致が活発に行われている。
- オシリア観光団地の開発方向は、「テーマパークを通じて夢と理想の空間」を作ること。
 - 主要施設地区は宿泊施設地区(11.87%)、商店施設地区(6.7%)、スポーツ娯楽施設地区(40.35%)、休養文化施設地区(15.32%)、公共サービス施設地区(13.88%)、その他の施設地区(11.88%)で構成されている。

オシリア観光団地造成事業の概要

- 事業期間：2006～2019年
- 位置：機張郡機張邑大辺・侍郎里一帯
- 面積：366万㎡
- 事業内容：テーマパーク、アクアワールド、ホテル、ゴルフ場、複合ショッピングモールなど
- 総事業費：約36億ドル(公共11億ドル、民間25億ドル)
- 事業主体：釜山都市公社

❖ 永宗島ミダンシティ³⁾

- 仁川永宗地区の北東にあるミダンシティ(Midancity)は、韓国の経済自由区域で初めて国際公募を通じて推進されている事業である。
- ミダンシティは大韓民国観光サービス産業(MICE)の活性化に貢献するカジノ複合リゾート開発プロジェクトである。
 - 総合レジャー休養コンベンション都市を目標に建設されるミダンシティには、カジノを中心とした複合リゾートが建設される予定で、第2、第3の複合リゾートも追加建設される予定である。

2) 資料：韓国オシリア観光団地ホームページ(www.ebtc.co.kr)参照

3) 資料：仁川経済自由区域庁ホームページ(www.ifez.go.kr)参照

- 主要施設はホテル、コンドミニウム、カジノ、スパ、コンベンションセンター、ショッピングモール、オフィス、外国人国際学校、国際ヘルスケアセンター、エンターテイメントなどで構成されている。

永宗島美綴城市事業概況

- 項目期：2006年～2025年
- 地点：仁川広域市中区云北洞897号一帯、仁川経済自由区永宗地区
- 面積：2,699,945平方メートル
- 総費用：共45億ドル(建設SPC、建設基礎施設、建設上層建築)
- 項目負責単位：美綴城市開発股份公司、仁川城市公社

ソラシドスマートシティ⁴⁾

- 先端技術が食糧及びエネルギーの安定的な生産に貢献し、クリエイティブな活動が人間の豊かさとともにつながる「新しい未来文明都市」の建設を目標に推進されている。
- 今後、気候・技術・社会・経済の変化に応じて、先端技術と新再可能エネルギー基盤の産業開発を行うことにより環境の変化に対応し、持続可能性を確保するための未来都市としてのスマートシティを建設
 - スマートシティでの生活自体が観光商品になる世界唯一のスマートシティ観光都市
 - 太陽光産業による無公害エネルギー資源の確保
 - スマートファームクラスター及び太陽光営農団地造成による観光農業活動
 - 融合・複合観光コンテンツを活用し、観光レジャー産業の新しいエコシステムを構築
 - 電気自動車専用都市を構想し、自動運転車で運営される炭素排出自動車のない都市を実現
 - 人工知能 (AI) を活用した都市インフラ運営
- ソラシドスマートシティはスマートシティ産業地区、国際ビジネステーマ地区、親水型特化観光地区、健康ヒーリングテーマ地区で構成されている。

ソラシドスマートシティ概要

- 事業期間：2010～2030年
- 住所：全羅南道海南郡山二面九星里一帯6
- 面積：約21Km²
- 総事業費：約54億ドル
- 事業主体：西南海岸企業都市開発(株)

4) 資料：ソラシドスマートシティホームページ(www.solaseado.com)参照

3 政策立地

3.1 主要政策及びインセンティブ⁵⁾

- 勤労者休暇支援制度の導入
 - 韓国文化体育観光部は国民の「休息のある暮らし、旅のある暮らし」の日常化のため、休む権利の保障と観光福祉を拡大することで、国内観光及び地域観光の活性化を政策目標にしている。
 - 韓国政府は勤労者休暇支援制度を導入し、職場で自由に休暇をとれる文化作り及び国内旅行の活性化を図る。
 - 勤労者の国内旅行を促進するため、国内旅行に必要な費用を政府、企業、勤労者が共同で創出しており、2018年には勤労者2万人が参加した。
- 国際会議複合地区の指定
 - 韓国は2018年国際団体連合（UIA）統計基準で890件の国際会議を開催し、世界第2位になるなど、国際会議の開催国としてのステータスを強化している。
 - 特に、国際会議施設を中心に宿泊、ショッピング、劇場など関連産業の集積化により、地域MICE産業の競争力強化に取り組んでおり、2018年には国際会議複合地区と国際会議集積施設を指定した。
 - 韓国文化体育観光部は2022年まで国際会議複合地区を12カ所に拡大することで、地域の強みを活用し、関連施設の集積化による付加価値の拡大に取り組んでいく計画である。
- ウェルネス観光産業の育成
 - 韓国文化体育観光部はウェルネス観光産業の成長と歩調を合わせ、韓国ならではのユニークなウェルネス観光コンテンツを発掘するため、「ウェルネス観光25選」を選定した。2018年には韓国代表ウェルネス観光地8カ所を追加で選定し、33カ所まで増やした。
 - 選定されたウェルネス観光地での外国人受入態勢を改善するため、外国語の広報物作成、外国語併記の案内表示板の製作・設置など施設別に対応している。
 - ウェルネス観光地のVRコンテンツ制作、ウェルネス観光地の広報TV番組の制作・放送、国内外観光博覧会の参加といったウェルネス観光地をアピールするための多様な事業を推進している。
- 韓国観光品質認証制度の導入
 - 韓国観光品質認証制度は、着実に量的成長を続けている韓国観光産業の質的成長を図るために導入された政策で、宿泊とショッピング分野の観光サービスの履行標準を提示し、品質の認証を行うことによりサービス及び品質管理の手続きを強化した。
 - 2018年現在、宿泊業とショッピング業で総480カ所が認証を維持している。
 - 韓国観光品質認証制度の導入により、観光産業の品質向上を図ることで、観光客の観光満足度アップ及び国家のイメージアップ効果が期待されている。

5) 資料:韓国文化体育観光部(2019.8) 2018年現在観光動向に関する年次報告書

- 訪韓外来客の持続的な増加により、国内外観光客向けの宿泊施設が足りなくなり、政府は国内外の観光客を満足させる先進的な観光受入態勢を整えることを目標に、制度改善に向けた提案、宿泊施設建設コンサルティング、代案宿泊施設拡充及びサービスの改善に取り組んでいる。

3.2 主要立地⁶⁾

◆ 韓国の地域文化・観光資源の特性に合わせ、川・山脈などでつながっている地域、人的交流が活発な地域、地域文化が似ているなど、融合された地域を6つの観光ベルトに指定・育成する。

① 東海岸観光ベルト

- 東海岸の自然環境と文化資源の融合
- 東海のクリーンな海岸と白頭大幹を活かした休養・ヘルスケア観光の育成

② 西海岸観光ベルト

- 西海岸の歴史・文化と海洋レジャーの融合
- 国内外の観光客をターゲットにした滞留型休養・娯楽団地の開発

③ 南海岸観光ベルト

- 南海多島海岸を活かした観光商品の開発
- 近海及び世界主要地域をつなぐ国際クルーズ航路を開設し、国際船社を誘致

④ 朝鮮半島平和生態観光ベルト

- 南北接境地域の生態資源を平和的に活用し、朝鮮半島の緊張緩和に貢献
- DMZに存在する珍しい生態資源と文化遺産を生物圏保存地域に指定し、観光事業を推進

⑤ 川辺生態文化観光ベルト

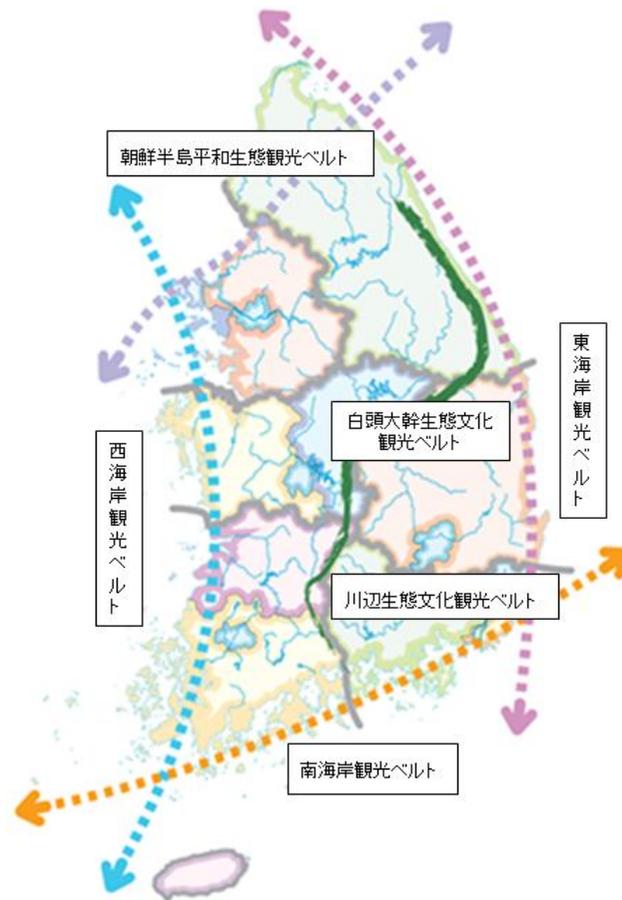
- 内陸の河川と水辺の環境を観光に活用するための国民余暇地帯の構築
- 4大川の自然・人文環境的な特性を考慮した資源開発及びインフラの構築

⑥ 白頭大幹生態文化観光ベルト

- 白頭大幹を休養と緑の生態体験の場にするためのインフラの構築
- 白頭大幹の伝統と文化が生きている歴史・文化観光圏の構築

6) 資料：韓国文化体育観光部(2011)、第3次観光開発基本計画(2012～2021)

観光ベルトの現況



資料：韓国文化体育観光部（2011）、第3次観光開発基本計画

4 潜在的なパートナー

4.1 関連機関及び協会リスト

機関名	ウェブサイト	主な役割
韓国文化体育観光部	www.mcst.go.kr	<ul style="list-style-type: none"> 韓国文化体育観光部は韓国観光の競争力を強化するため、多様な国家観光政策を開発及び推進している。 - 観光産業を国家戦略産業として育成し、世界レベルの観光サービス基盤の構築及び持続可能でハイクオリティな観光を追求
韓国観光公社	kto.visitkorea.or.kr	<ul style="list-style-type: none"> 政府の観光政策の執行機関として医療観光、クルーズ観光、韓流観光など多様な高付加価値の韓国観光商品を開発及び普及 海外マーケティングの最前線といえる31の海外支社を中心に海外観光市場を開拓 韓国では地方自治体及び地域の観光業界と共同広報マーケティング事業を支援
韓国文化観光研究院	www.kcti.re.kr	<ul style="list-style-type: none"> 政府の観光政策の方向性及び推進方法を提示するための政策研究課題を遂行

機関名	ウェブサイト	主な役割
		<ul style="list-style-type: none"> 政府、地方自治体、観光関連の国際機関など外部の委託を受け、研究課題を遂行 観光知識情報システム(www.tour.go.kr)を運営し、観光情報の生産及び普及を促進
韓国観光協会中央会	www.ekta.kr	<ul style="list-style-type: none"> 観光事業の健全な発展のために観光業界を代表している。 観光業界全般の意見を統合及び調整し、国内外の関連機関と相互協力して観光産業の振興及び会員の権益、福利の増進に貢献する。
韓国ホテル業協会	www.hotelskorea.or.kr	<ul style="list-style-type: none"> 観光ホテル業の健全な発展と会員企業の権益を増進させるために業種別協会として設立 主要業務は政府委託業務であるホテル業に対する等級審査及び等級決定、観光振興開発基金(ホテル業運営資金)業社の選定、観光ホテル産業の政策・支援及び現況対策のための対政府への提案及び政策諮問、観光ホテル従業員の教育訓練など
韓国旅行業協会	www.kata.or.kr	<ul style="list-style-type: none"> 旅行業の発展と会員の権益を増進させる目的で設立 旅行苦情処理センターを運営し、旅行消費者の被害補償業務を仲裁・処理する。
韓国カジノ業観光協会	www.koreacasino.or.kr	<ul style="list-style-type: none"> カジノ分野の業種別観光協会として、カジノ業の業務改善に関する指導監督及び利用者に対するサービス改善、カジノ業の発展のための調査・研究及び広報活動などを展開
韓国休養コンドミニアム経営協会	www.condo.or.kr	<ul style="list-style-type: none"> 韓国の休養コンドミニアム業界を代表する団体で、業界全般の意見を総合・調整し、関連機関と相互協力してコンドミニアム産業の健全な発展及び合理的かつ効率的な運営を図る。
韓国総合遊園施設協会	www.kaapa.or.kr	<ul style="list-style-type: none"> 遊園施設業の健全な発展のために政府の施策に積極的に協力し、会員の権益を増進、保護する目的で設立 遊園施設会社同士の親睦及び福利増進を図り、遊園施設の安全サービスを改善するための調査・研究・検査・広報活動を展開
韓国MICE協会	www.micekorea.or.kr	<ul style="list-style-type: none"> 現在、約200社のMICE関連企業を会員企業として抱えている韓国MICE業界を代表する団体 業界全般の意見を総合調整し、国内外の関連機関と相互協力することで韓国MICE産業の振興と会員の権益及び福利増進に貢献する。 国際会議産業を育成し、社会的な共益はもちろん、観光業界の権益及び福利を増大させることが目的
韓国PCO協会	www.kapco.or.kr	<ul style="list-style-type: none"> 会員業社の権益保護、入札情報提供、PCO広報、人力開発などを担当 協会の会員業社は現在49社 <ul style="list-style-type: none"> 国際会議企画業として登録されている会社の中で専任人力と専任組織のある国際会議企画専門PCOだけを対象にした資格審査をクリアした会員業社で構成されている。
大韓乗馬協会	kef.sports.or.kr	<ul style="list-style-type: none"> 韓国乗馬産業の発展のため、乗馬指導者及び審判の育成、乗馬競技力の向上を図る事業を推進している。
大韓ゴルフ協会	www.kgagolf.or.kr	<ul style="list-style-type: none"> ゴルフスポーツの振興及び普及を通じて国民の体力向上及びゴルフ産業の発展を図るために設立
大韓ヨット協会	www.ksaf.org	<ul style="list-style-type: none"> セーリング及びヨット競技を普及し、ヨット選手及び団体を支援・育成するために設立

4.2 地方自治体リスト

地方自治体名	担当部署	ウェブサイト	住所
ソウル特別市	観光体育局 (観光政策課、観光産業課)	www.seoul.go.kr	ソウル特別市中区 セジョンデロ110
釜山広域市	文化体育観光局 (観光マイルス課、観光開発推進団)	www.busan.go.kr	釜山広域市蓮堤区 チュンアンデロ1001
大邱広域市	文化体育観光局(観光課)	www.daegu.go.kr	大邱広域市中区 コンピョンロ88
仁川広域市	文化観光体育局(観光振興課)	www.incheon.go.kr	仁川広域市南洞区 チョンガクロ29
光州広域市	文化観光政策室(観光振興課)	www.gwangju.go.kr	光州広域市西区 ネバンロ111
大田広域市	文化体育観光局 (観光マーケティング課)	www.daejeon.go.kr	大田広域市西区 トンサンロ100
蔚山広域市	文化観光体育局(観光振興課)	www.ulsan.go.kr	蔚山広域市南区 チュンアンロ201
世宗特別自治市	自治分権文化局(観光文化財課)	www.sejong.go.kr	世宗特別自治市 ハンヌリデロ2130
京畿道	文化体育観光局(観光課)	www.gg.go.kr	京畿道水原市八達区 ヒョウォンロ1
江原道	文化観光体育局 (観光マーケティング課、観光開発課)	www.provin.gangwon.kr	江原道春川市 チュンアンロ1
忠清北道	文化体育観光局(観光航空課)	www.chungbuk.go.kr	忠清北道清州市 上党区サンダンロ82
忠清南道	文化体育観光局(観光振興課)	www.chungnam.go.kr	忠清南道洪城郡洪北面 チュンナムデロ21
全羅北道	文化体育観光局(観光総括課)	www.jeonbuk.go.kr	全羅北道全州市完山区 ヒョジャロ225
全羅南道	観光文化体育局(観光課)	www.jeonnam.go.kr	全羅南道務安郡 三郷邑オリョンギル1
慶尚北道	文化体育観光局 (観光政策課、観光マーケティング課)	www.gb.go.kr	慶尚北道安東市 豊川面トチョンデロ455
慶尚南道	文化観光体育局(観光振興課)	www.gyeongnam.go.kr	慶尚南道昌原市義昌区チュンアン デロ300
済州特別自治道	観光局 (観光政策課、投資誘致課、カジノ監督課)	www.jeju.go.kr	済州特別自治道済州市 ムニョンロ6



KOTRA 20-122

Investment Opportunities in Korea

観光

発行所 KOTRA

発行日 2020年2月

電話 (82-2) 1600-7119 (代表)

ホームページ www.kotra.or.kr www.investkorea.org

作成 KOTRA投資広報チーム

協調 韓国文化観光研究院 金德基 (www.kcti.re.kr)

ISBN 979-11-6490-274-3 (95320)

Copyright © 2020 by KOTRA. All rights reserved.